

モニタリング結果報告書

(厚生労働省23(Ⅵ-3-1))

施策目標名	国際機関の活動へ参加・協力し、国際社会に貢献する(施策中目標Ⅵ-3-1)							
施策の概要	<p>本施策は、次の施策小目標を柱に実施しています。</p> <p>(施策小目標1) 国際労働機関が行うディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)実現のための事業等に対して協力すること</p> <p>(施策小目標2) 世界保健機関等が行う技術協力事業に対して協力すること</p> <p>(施策小目標3) 経済協力開発機構が行う研究・分析事業に対して協力すること</p>							
施策の背景・枠組み (根拠法令、政府決定、関連計画等)	<p>【アジア太平洋地域技能就業能力計画】 アジア太平洋地域技能就業能力計画に対して、拠出金の拠出を行うことにより、本計画の設立目的である「アジア太平洋地域における職業訓練に関する専門的知識、経験、資材・施設等を相互に活用した職業訓練分野での技術協力を推進することによって、これら諸国の職業訓練及び技能の水準の向上、雇用の拡大ひいては経済・社会開発を促進すること」を達成します。(厚生労働省設置法第4条第109号)</p> <p>【世界保健機関等拠出金事業】 世界保健機関(WHO)や国際合同エイズ計画(UNAIDS)を通じ、感染症対策やエイズ対策などの国際保健分野における諸課題への取組を強化することを目的としています。(世界保健機関憲章第57条(WHO)、国際連合経済社会理事会決議1994/24第12条(UNAIDS))</p> <p>【経済協力開発機構拠出金事業】 経済協力開発機構による世界経済の主要国の雇用労働・社会問題・保健医療分野の様々な課題に関する多角的・総合的な研究・分析を通じて、日本の雇用労働・社会保障政策等の改善を図ることを目的としています。(OECD予算規則第20条第1項)</p>							
予算書との関係 ・関連税制	<p>本施策は、予算書の以下の項に対応しています。</p> <p>(項) 国際機関活動推進費: 経済協力に係る国際分担金等の支払に必要な経費(全部) 国際分担金等の支払に必要な経費(一部)</p>							
施策の予算額・執行額等 ※ 「執行額」欄には、独法の運営費交付金は含まない。	区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求額	
	予算の 状況 (千円)	当初予算(a)	1,699,240	1,819,999	2,016,885	1,567,358	1,777,840	精査中
		補正予算(b)	0	0	0	0	0	—
		繰越し等(c)	0	0	0	0	0	—
		合計(a+b+c)	1,699,240	1,819,999	2,016,885	1,567,358	1,777,840	—
	執行額(千円、d)		1,699,239	1,672,568	2,016,885	1,567,358	—	—
執行率(%、d/(a+b+c))		100%	92%	100%	100%	—	—	
施策に係る内閣の重要政策 (施政方針演説等のうち主なもの)	施政方針演説等の名称		年月日		関係部分(概要・記載箇所)			
	—		—		—			

測定指標	指標1	基準値	実績値					目標値
	アジア太平洋地域技能就業能力計画(SKILLS-AP)のセミナー参加者が自分の所属機関等においてセミナーの成果を政策や事業等何らかの形で活用した割合	—	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
		—	85%	100%	88%	100%	集計中	80%
	年度ごとの目標値	—	—	—	—	—	—	
	指標2	基準値	実績値					目標値
	主な流行性疾患への備えと対応のために、国家準備計画と標準的作業手順が設置された国の数	—	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
		—	—	—	—	139カ国	141カ国	165カ国
	年度ごとの目標値	—	—	—	135カ国	—	—	
	指標3	基準値	実績値					目標値
	国連共同エイズ計画(UNAIDS)による支援を受け、エイズ治療とケアサービスを拡大した国の数	—	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
—		—	—	—	71カ国	78カ国	—	
年度ごとの目標値	—	—	—	—	—	—		
指標4	基準値	実績値					目標値	
OECD事業実施報告における厚生労働省が拠出した事業の質に対する各国評価平均	—	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
	—	3.59	4.00	4.02	平成23年実施予定	平成23年実施予定	3.00	
年度ごとの目標値	—	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00		

参考資料の情報	○指標1について ・アジア太平洋地域技能就業能力計画(SKILLS-AP)ワークショップの参加者の所属機関(各国能力開発行政機関)による評価結果(ワークショップで得られた知識・スキルを新しい制度の導入、既存の制度の運営等に活用できたか) ・関連事業の行政事業レビューシート URL: http://www.mhlw.go.jp/seisaku/jigyo_siwake/dl_rv3/558a.pdf
	○指標2について ・WHOの2008-2009計画予算及び性能評価報告書等 ・関連事業の行政事業レビューシート URL: http://www.mhlw.go.jp/seisaku/jigyo_siwake/dl_rv3/552a.pdf
	○指標3について ・UNAIDS活動モニタリング報告書2010 ・関連事業の行政事業レビューシート URL: http://www.mhlw.go.jp/seisaku/jigyo_siwake/dl_rv3/552a.pdf
	○指標4について、 ・OECD事業実施報告(PIR, Programme Implementation Reporting) OECD加盟国がOECDの事業の「質」(Quality)を1~5の5段階で評価した調査報告。2年おきに実施され、平成21年及び平成22年分は、平成23年に実施する予定。 ・OECDの事業年(暦年)と当省予算年度の関係:OECDの事業に対しては、その前年度の当省予算から拠出(OECDの平成22年(暦年)事業については、当省平成21年度予算から拠出)。 ・関連事業の行政事業レビューシート URL: http://www.mhlw.go.jp/seisaku/jigyo_siwake/dl_rv3/554a.pdf

担当部局名	大臣官房国際課	作成責任者名	国際課長 麻田千穂子	報告書作成日	平成23年6月30日
-------	---------	--------	------------	--------	------------

(注)「アジア太平洋地域技能就業能力計画(SKILL-AP)」については、職業能力開発局海外協力課長 福澤 義行